

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 26年 7月 26日			
所属学部・研究科	文学部 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	トゥールーズ・ミライユ大学 (国名: フランス)			
所属学部・学科等名	DEFLE			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 25年 9月 2日 ~ 平成 26年 6月 30日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: 学生ビザ			
	ビザ申請先: 在日フランス大使館			
	取得方法, 提出書類: 毎年内容が若干変わるのでフランス大使館 HP を参照してください。			
	手続きに要した日数: 2ヶ月			
その他必要な事前手続き	なし			
出国年月日	平成 25年 9月 2日			
経路	関西国際空港→シャルル・ドゴール空港→トゥールーズ・ブラニャック空港			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	9月中旬に留学生対象のオリエンテーションがありました。			
帰国年月日	平成 26年 6月 30日			
経路	トゥールーズ・ブラニャック空港→シャルル・ドゴール空港→関西国際空港			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	130万	円	
	内訳	渡航費	18万	円
		保険料	12万	円
		教科書代(学費)	0	円
		宿舍費	18万	円
		食費	30万	円
		その他 (交通費)	14万	円
(雑費)	38万	円		
(費)		円		
3. 授業について				
2013年 1学期	9月 23日	~	1月 19日	

2014年 2学期	1月 20日 ~	5月 16日
年 学期	月 日 ~	月 日
年 学期	月 日 ~	月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	文法、読解、作文、聞きとり、会話、要約、文化、文学、歴史	
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
学術面に関する後輩へのアドバイス		
4. 生活等について		
(1) 留学先の住居について		
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()	
住居の広さ	約 9 m ²	同居人の有無 <input type="checkbox"/> 有 (人) <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()	
住居費	1ヶ月当たり 226 ユーロ(現地通貨)	約 3万円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()	
留学先での住居全般に関するアドバイス	CAF という住宅補助を申請すれば毎月 90 ユーロの給付を受けることができます。部屋は台所付きか共同キッチンかを入寮時に自分で選ぶことができます。	
(2) 医療について		
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった	
入院した場合	により 日入院	
留学に当たり保険を	<input type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった	
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()	
掛け金は	年間 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()	
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名		
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)		

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと		
(3) 危険を感じた地域, 状況		
学校周辺の地域や夜間はなるべく一人で歩かないようにした方がいいと思いますが、気をつけていれば大丈夫です。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 26年 3月 (当初の卒業予定年月 平成 26年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	大学院に進学予定	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫		
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
トウルーズは暮らしやすく人々も優しく留学するのにとても良い街だと思います。		

学習の概要に関するレポート

私が所属していたDEFLEは外国人のためのフランス語を学ぶ学部であり、大学付属の語学学校のようなものです。1年生から5年生まであり、入学前に行われるフランス語のテストによって自分の能力に適する学年に振り分けられます。私が在籍した三年生は全課程終了後にDELF B2取得を目標とするレベルです。文法、読解、会話、作文などフランス語能力を高めるための授業に加え、文学や文化、歴史を学ぶ授業も提供されています。1学期の間に必修の授業が5つあり、選択科目として3つの中から1つ授業を選ぶことができます。これら全てを履修すると、1週間に8コマ授業があります。また希望者には発音矯正の授業も用意されています。授業時間は2時間と日本よりも長く、もちろんすべてフランス語で行われるため、まだ慣れないうちは少し大変でした。DEFLEにはフランス語を学びたい人が集まっているため、学生は国籍、年齢も様々です。そのため、クラスの友達と関わることで文化交流をすることも出来ます。学期末には学年全体でのパーティーがあり、自分の国の料理を持ち寄って楽しみました。

また、スポーツの授業も受けることができます。メジャーなものからマイナーなものまで多くの種目があり、私はヨガとバドミントンを選びました。スポーツの授業は全学生に開かれたものであるため、他学部の学生と交流することが出来ました。スポーツに必要な道具は無料で借りることが出来るため、気軽に参加することが出来ます。

交換留学生はDEFLEの授業だけでなく、他学部の授業を履修することも出来ます。しかしフランス語学習者のための授業とは違い、進むスピードも速く、内容も専門性が高く、授業を理解しついでいくにはかなり高いレベルのフランス語能力が必要となります。私の場合はDEFLEで提供される全ての授業を履修し、他学部の授業は何度が聴講しただけです。

試験は一学期間に二回行われ、中間試験と期末試験の平均点が成績となります。各試験の前には二週間のバカンスがあるので、試験勉強に困ることはないと思います。フランスの試験は20点満点で、半分の10点以下だと落第です。もし10点以下を取ってしまっても、追試を受けて合格すれば単位が認定されます。しかし学年によるとは思いますが、DEFLEの授業のテストで10点以下となることはまずないと思います。

また、DELF・DALFやTCFなどのフランス語能力試験は、大学で申し込めば、日本よりも安く受験することが出来ます。申し込みの期間が短いため気をつけておかなければなりません。

フランス語の勉強はDEFLEでしっかりと出来ると思いますが、フランス語で会話をする力を伸ばすためには、友達と話すことが一番良いと思います。ミライユ大学には日本語学科もあるので、友達は見つけやすいと思います。

生活の概要に関するレポート

フランス南西部に位置するトゥールーズはフランスで5番目に大きな都市で、多くの建築物は赤色のレンガで作られており、その綺麗な景色から「バラ色の街」と呼ばれています。また学生数がフランスで二番目に多いという大学都市でもあるため、学生に優しい制度がたくさんあります。例えば25歳以下の学生は一カ月10ユーロで市内のバス・メトロ・トラムが乗り放題です。映画も学生料金があり、5ユーロで観ることが出来ます。美術館は無料です。

住居は大学が紹介する寮に住んでいました。トイレ・シャワーは各部屋に備えられていますが、キッチンの有無は棟によって違い、入寮時に選ぶことが出来ます。私はキッチンのない部屋を選び、共同キッチンを使っていました。共同キッチンは各階に二つあり、冷蔵庫は各部屋にあるため、それほど不便には感じませんでした。家賃は220ユーロですが、CAFという住宅補助の申請をすれば毎月90ユーロの補助が受けられ、半額近くの値段になります。寮から街の中心部まではバスで15分ほどで行くことができ、スーパーマーケットは近くにあり、隣にはプールもあります。すぐ近くに運河があり、ガロンヌ川も近く、とても雰囲気が良く、散歩やジョギングするのにとても良いです。しかし大学からは少し遠く、バスとメトロを乗り継いで40分ほどかかります。しかも公共交通機関はデモやストライキで動かなくなることもよくあり、そのせいで学校に遅刻することもありました。メトロは悪天候だけで麻痺することもあります。

生活に必要なものは中心部まで行けば全て揃えることができ、その点では特に困ることはないと思います。レストランやカフェも多く、パリと比べれば比較的安いです。日本の食品は普通のスーパーマーケットにはあまり売っていないため、アジア食品店まで買いに行かなければなりません。しかし治安の悪い地域の中にあるので、1人だけで行くことや、女性だけで行くことはなるべく避けた方がいいと思います。

基本的にお店は7時か8時に閉まってしまい、日曜日は開いていません。しかし日曜日の午前中だけ開いているスーパーマーケットもあり、市場は日曜日にもやっています。夜遅くまで開いているスーパーマーケットや24時間営業のコンビニがあることに慣れ、いつでも何でも買えるのが普通の日本とはかなり違いますが、慣れてしまえばそれほど不便ではありません。

トゥールーズの人は明るく優しい人が多く、とても話好きで、バスやお店で気さくに話しかけてくれます。おかげで私の留学生活は出会いが多く、とても楽しいものとなりました。トゥールーズの温かな雰囲気の中で、有意義な10カ月間を過ごすことが出来たと思います。